

山田町長選挙

沼崎喜一氏が再選

本町5度目の無競争当選に

向こう四年間の町政を託す人
を選ぶ山田町長選挙が七月六日
告示され、同日午後五時で立候
補の届け出が締め切られました。

その結果、現職の沼崎喜一氏
(六) 無所属 以外に届け出が
なく、沼崎氏の無投票当選が決
定しました。本町の町長選挙で
の無投票当選は、昭和三十四年
と三十八年の佐藤善一氏、同六
十三年の福土彌兵衛氏、平成八
年の黒澤孝氏の無競争当選に次
いで五度目となります。

当選証書付与式は、七月十二
日午前十時から、役場特別応接
室で行われました。町選挙管理
委員が見守る中、和合協一選管
委員長から沼崎氏に当選証書が
手渡され、二期目の町政をス
タートさせることになりました。

《略歴》

宮古高校卒。昭和三十六年宮
古電報電話局入社。五十八年山
田町議初当選から連続五期当選
し、副議長、経済常任委員長な
どを歴任。平成十二年山田町長
初当選。山田町織笠二一一一
二六。六十一歳。

和合選管委員長により当選証書が読み上げられ、
沼崎氏に手渡されました(12日・役場特別応接室)



ごあいさつ

山田町長 沼崎 喜一



今後も住民参加の町づくりを

くりを目指して全力投球を続け
てまいりました。毎月一回の
「町長面談日」以外にも、日程
の許す限り町民の方からのご希
望に応じてお会いする機会をつ
くってまいりましたし、「お座
敷広場」など各種集会、懇談会
にも積極的に出席して日ごろの
町政に対するご質問にも答えて
まいりました。この姿勢はこれ
からも変わることはありません
。情報公開を徹底して、可能
な限りの住民参加の町づくりを
進めていくつもりであります。

二期目の課題の一つは、国の
「三位一体の改革」に対応した
財政基盤の確立であります。既
に町の行政改革大綱に即した行
政改革を進めてまいりましたが、
予測を超える交付税の削減
などが先行され、さらなる行財
政改革を推進する必要があります
。右肩上がりの経済成長の時
代は過去のものとなり、事業の
実施に際しては、より厳しい選
択を迫られることとなります。
そのためには、今まで以上に町
民の皆さまのご理解とご協力が
必要であります。

町長として二期目の町政を
担当させていただくに当たり、
一言ごあいさつを申し上げます。
本町を取り巻く情勢は、
依然厳しい状況が続いており
ます。課題山積の折、町民の
皆さまから一期目の実績を踏
まえて信任をいただいたものと
理解し、責任の重さをあら
ためて痛感しております。
私は、この四年間、二十一
世紀に生き残れる新しい町づ

「小さくてもキラリと光る山
田町」を目指して共に前進しま
しょう。